

Gard Alert

カリフォルニア州、船舶減速にインセンティブを付与



こちらは、英文記事「[California incentivises ships that slow down](#)」（2018年6月28日付）の和訳です。

クジラを保護し、船舶からの大気排出量を削減する取り組みとして、米カリフォルニア州は「Protecting Blue Whales and Blue Skies Program」（青いクジラと青空保護プログラム）を継続しています。2018年7月1日から2018年11月15日の期間には、サンタバーバラ海峡とサンフランシスコ湾水域において、船舶の自主的な減速ゾーンが設定されます。

多くの方がご存じのとおり、米西海岸は、カリフォルニア州のロサンゼルス港やロングビーチ港など国内最大規模の港を持つ、船舶交通量が最も多い地域の一つです。また、カリフォルニア州の厳しい大気汚染規制により、同州沖の海域では船舶は減速を余儀なくされています。しかし、同州の海域には、絶滅の危機に瀕している鯨種が数多く生息していることをご存じでしょうか。そして、意図せぬ結果ではありますが、減速航行によって、船舶とクジラの重大な衝突事故も減少しているのです。

カリフォルニア州の「[Protecting Blue Whales and Blue Skies Program](#)」は、絶滅危惧種のクジラを保護し、大気汚染を改善する取り組みを行う船会社を評価するインセンティブ・プログラムです。船舶の自主的な減速（Voluntary vessel speed reduction [VSR]）ゾーンは、クジラのシーズン期と大気汚染レベルが高い時期に合わせて設定されます。プログラムに登録し、基準に従って航行する船舶には、奨励金が与えられます。

2018年6月19日付の[プレスリリース](#)では、以下の発表がありました。

- 2018年のインセンティブ・プログラムは、7月1日から11月15日までの期間、サンタバーバラ海峡エリアおよびサンフランシスコ湾エリアに設定された [VSR ゾーン](#) で施行されます。
- この期間中、船会社には、VSR ゾーンを10ノット以下で航行した距離のパーセンテージ（「パーセント・コーポレーション」）に基づき、奨励金が与えられます。

- 10 ノット以下で航行した距離の承認を受けるためには、VSR ゾーン全体を通過する際の平均スピードが、12 ノットを超えてはなりません。
- 奨励金は、各会社につき約 1,000 米ドルから 35,000 米ドルの間となります。
- VSR ゾーンを通過する際の各船のスピードは、AIS（自動船舶識別装置）のデータを用いて確認します。
- プログラムに登録した会社が、最低限のプログラム基準を守れなかった場合でも、ペナルティはありません。

カリフォルニア州の港への寄港に際し、プログラムへの登録を希望される場合は、なるべく 2018 年 6 月 30 日（遅くとも 2018 年 7 月 10 日）までに登録するようにしてください。登録の手引きとフォームは <https://www.ourair.org/air-pollution-marine-shipping/> から入手可能です。

また、米東海岸のマサチューセッツ州ボストン沖では、グレートサウス海峡・季節管理海域（Great South Channel Seasonal Management Area）において、2018 年 7 月 31 日まで 10 ノットのスピード制限が義務化されていますので、こちらも再確認してください。同海域は、絶滅危惧種であるタイセイヨウセミクジラの餌場となっています。詳しくは、[NOAA Fisheries](#) のウェブサイトをご覧ください。

カリフォルニア州は、厳格な環境保護規制の施行で知られています。同州の港に寄港する船舶は、カリフォルニア州外航船燃料規制（California Ocean-going Vessel (OGV) Fuel Regulation）が定める、より厳しい[大気排出要件](#)の遵守に加え、同州の海洋外来種生物プログラム（Marine Invasive Species Program）のもとで施行されている[バラスト水排出と生物付着に関する規制](#)も遵守しなければなりません。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。